みずほCustomer Desk Report 2017/07/07 号 (As of 2017/07/06)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
				公示仲値	113.04	
TKY 9:00AM	113.21	1.1345	128.43	0.9646	1.2927	0.7599
SYD-NY High	113.47	1.1425	129.40	0.9659	1.2983	0.7614
SYD-NY Low	112.88	1.1330	128.00	0.9601	1.2924	0.7577
NY 5:00 PM	113.21	1.1424	129.32	0.9605	1.2971	0.7583
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			8.14/8.54	Δ25RR	0.925	Yen Call Over

NY DOW	21,320.04	▲ 158.13	債券市場	日本2年債	-0.0950	1.0bp
NASDAQ	6,089.46	▲ 61.39		日本10年債	0.1040	1.2bp
S&P	2,409.75	▲ 22.79		米国2年債	1.3944	▲0.8bp
日経平均	19,994.06	▲ 87.57		米国5年債	1.9351	2.2bp
TOPIX	1,615.53	▲ 3.10		米国10年債	2.3659	4.3bp
ｼｶｺﾞ日経先物	19,930.00	▲170.00		独10年債	0.5620	9.2bp
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,337.28	▲30.32		英10年債	1.3160	5.6bp
DAX	12,381.25	▲72.43		豪10年債	2.6400	1.0bp
ﾊﾝｾﾝ指数	25,465.22	▲ 56.75	為替市況	USD/CNH	6.8004	0.0003
上海総合	3,212.44	5.31		ドルインデックス	95.80	▲0.49
USDJPY 3M Vol	8.72	▲0.01%	商品市況	CRB指数	174.428	0.77
USDJPY 6M Vol	8.93	▲0.03%		NY金	1,223.30	1.60
EURJPY 3M Vol	9.18	0.06%		WTI	45.52	0.39
EURJPY 6M Vol	9.52	0.05%		Dubai Spot	47.04	▲0.81

東京

ｵｾｱﾆｱ時間、ﾍﾝﾘｰ米国連大使による「北朝鮮の脅威を真剣に受け止めない国に対し、我々の貿易姿勢は変わる」「北朝鮮による核ﾐｻｲﾙ開発計画の阻止に向け、やむを得なければ軍事力を行使する用意がある」との発言が伝わったほか、文韓国大統領による「北朝鮮への制裁強化を検討すべき」と発言が報じられたものの、ﾄﾞﾙ円相場への影響は限定的で113円台前半で推移。斯かる状況下、ﾄﾞﾙ円は113.21ﾚﾍﾞﾙで東京時間ｵｰﾌﾟﾝ。朝方は安寄りした日経平均株価が下げ幅を拡大し、20,000円を割り込むとﾄﾞﾙ円は113.00を割れ、112.90台まで下落。その後、113円台を回復したが、北朝鮮情勢を巡る不透明感が漂う中、上値は押さえられた。午後に入り安値112.88まで下落したものの、海外時間に米6月ADP雇用統計、7日に米6月雇用統計等の発表を控える中、前日(7/5)の安値である112.83を下抜けるほどの方向感は出ず、小幅ながら反発。再び113円台を回復し、結局113.17ﾚﾍﾞﾙで海外に渡った。

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ時間のﾄﾞﾙ円は113.17ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。米6月ADP雇用統計の発表を控えていたことに加え、北朝鮮の大陸間弾道ﾐｻｲﾙ発射実験後の国際協調等が注目されるG20首脳会議が週末開催されることから様子見ﾑｰﾄﾞ。但し、米金利が上昇する中でやや円売りが優勢となり、ﾄﾞﾙ円は高値113.47をつけた。一部では、本邦国債利回りが上昇してきたことで、指値ｵﾍﾟ実施に関する思惑等が意識されたとの声もあった。結局、ﾄﾞﾙ円は113.34ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.1334ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。午後にﾄﾞﾗｷﾞECB総裁や政策委員会ﾒﾝﾊﾞｰのﾉﾎﾞﾄﾆｰ・ｵｰｽﾄﾘｱ中銀総裁がﾕｰﾛの先行きについて議論することから、金融緩和策解除に繋がるような発言を警戒する向きもあり、ﾌﾗﾝｽ債入札で同国30年債の需要後退が示された他、独10年債利回りが2016年1月以来となる0.50%まで上昇する等、ECB資産購入ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ購入対象国の金利が軒並み上昇。ﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.1388まで買われ、1.1387ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。

ニューヨーク

NY時間のﾄﾞﾙ円は113.35ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。朝方発表された米6月ADP雇用統計が予想を下回り、前回値も下方修正されたことからﾄﾞﾙ円は113.04まで下落。しかし、113円台を割り込むことなく反発し、米6月ISM非製造業景況指数が予想を上回る良好な結果となったことや、EIA統計で予想以上の原油在庫減少が明らかになったことでWTI原油価格が上昇したことから、ﾄﾞﾙ円は113.37まで反発。その後は、欧州株の下落を受けて米株も幅広いｾｸﾀｰで売りが強まり軟調な推移となったことから、ﾄﾞﾙ円は積極的に上値を追う展開とはならなかった。午後は113.20付近での動意に欠ける推移が続き、113.21ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。一方ﾕｰﾛﾄﾞﾙは早朝に公表されたECB理事会議事要旨から、EU内の景気回復から金融政策の正常化に向けた議論進展への観測が強まり、1.13台前半から上昇し1.1387ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。NY時間も堅調な流れを引き継ぎ、ﾊﾞｲﾄﾏﾝ独連銀総裁による「景気回復がECBの出口戦略のﾄﾞｱを開いた」などの発言や、独10年債利回りが1年5ヶ月ぶりの高水準にまで上昇する動きに連れて上昇。高値1.1425をつけた後も1.14台前半での底堅い推移が続き、1.1424ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当：鵜田・坂本

【昨日の指標等】

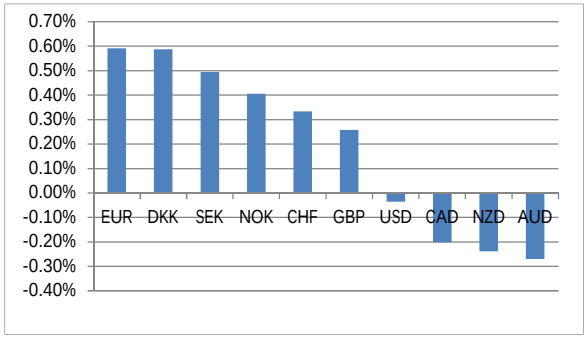
Date	Time		Event		結果	予想
7月6日	08:50	日	対内・対外証券投資	-	-	-
	10:30	豪	貿易収支	5月	A$2,471M	A$1,000M
	20:00	米	MBA住宅ローン申請件数	-	1.4%	-
	20:30	欧	ECB理事会議事要旨	-	-	-
	21:15	米	ADP雇用統計	6月	158K	188K
	21:30	米	新規失業保険申請件数	-	248K	243K
	21:30	米	貿易収支	5月	-$46.5B	-$46.3B
	22:45	米	マークイット PMI(コンポジット/サービス業)・確報	6月	53.0/54.2	-/53.0
	23:00	米	ISM非製造業景況指数	6月	57.4	56.5
	23:00	米	パウエルFRB理事 講演	-	-	-

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
7月7日	08:30	米	フィッシャーFRB副議長 講演	-	-	-
		中	外貨準備高	6月	$3,061.0B	$3,053.6B
	15:00	独	鉱工業生産(前月比/前年比)	5月	0.2%/4.0%	0.8%/2.9%
	17:30	英	鉱工業生産(前月比/前年比)	5月	0.4%/0.2%	0.2%/-0.8%
	21:30	米	非農業部門雇用者数変化/失業率	6月	178K/4.3%	138K/4.3%
	21:30	米	平均時給(前月比/前年比)	6月	0.3%/2.6%	0.2%/2.5%
～7月8日		独	G20首脳会談	-	-	-

【ドル円相場】

【対円騰落率（日次）】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.70-113.70	1.1350-1.1450	128.50-129.50

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は、方向感に欠ける中でレンジ推移となった。欧州金利が全般的に上昇する中で米金利も連れ高となり、ドル円は113.47まで上昇。しかし、米6月ADP雇用統計や市場予想を下回ったことや、軟調な米株や原油価格を背景に上値は限定的となり、結局113円台前半で本日を迎えた。本日は米6月雇用統計を予定しており、同指標の内容に振られる展開が予想されるが、基本的には上値の重い展開を予想する。昨日にかけて米長期金利は上昇しているものの、原油価格が伸び悩む中でインフレ期待が上昇する展開は考えづらく、ドル円の上値もやや重さが感じられる。足許でVIX指数もやや上昇傾向にある中で調整の動きに米株も伸び悩みを見せている状況下、ドル円は基本的に上値の重い推移となるだろう。